

令和7年度 第1回北陸農政局農業農村整備事業等評価に係る技術検討会（補助事業）議事録

日時：令和7年12月1日（月）13：30～15：40

場所：金沢広坂合同庁舎 大会議室（1階）

出席委員（50音順）：上澤委員、瀧本委員長、松本委員

〔技術検討会委員からの質問・意見〕

・農業農村整備事業等補助事業の再評価について

◆水利施設等保全高度化事業「赤川地区」

（桶谷水利整備課長） 資料に基づき概要説明（説明内容は記載省略）。

（瀧本委員長） ただ今の事務局からの説明に関しまして、ご質問等ありましたらよろしくをお願いします。

（松本委員） 環境配慮に関わる取り組みについて、モツゴが指標になっているということなのですが、この事業が既に何年か継続している中で、モツゴの生息数が前年度より何%変動した場合に、どのように評価し、どのような対応を取るのかといった、具体的な判断基準や行動方針は定められていますか。指標となる生物種を数えるだけではなくて、「こうなったらこうする」という行動判断の仕組みがあるのかを確認したいです。

（桶谷水利整備課長） ご質問ありがとうございます。確認させていただきたいと思しますので、次回にご回答させていただければと思います。

（松本委員） よろしくをお願いします。せっかくですので、指標種をカウントするだけではなくて、それがどう変動したらどう対応して環境を守っていくのかというような、行動指針みたいなものがあるといいのかなと思ったので質問させていただきました。ありがとうございました。

（瀧本委員長） ありがとうございます。どれだけ種がいるかという数ではなくて、委員がおっしゃっていたようなことを考えると、その生物が生息するための環境がどういうふうに形成されて、それがどういうふうに持続可能な形で保全されていくかという、そういうところまで考えていくということが必要なのかなと思っております。今この図面だけを見ましても、合流付近の連続性を確保するとか、あるいは流量が低いときでも水面下で魚巢機能を設けるといことで、少なくとも魚の遊泳速度といったようなことも考慮しながら、水の流れと排水性との関係性といったものを詰めていくといいのではないかと思います。ご検討いただきまして、回答がまとまりましたら松本委員にご説明いただければ

と思います。よろしく申し上げます。

◆農業競争力強化農地整備事業「打越地区」

(猪谷農地整備課長補佐) 資料に基づき概要説明(説明内容は記載省略)。

(瀧本委員長) ただ今のご説明に関しまして、ご質問等はございませんでしょうか。

私から質問という形で教えてほしいのですが、この埋蔵文化財の調査があって、これが結構広がりを見せているというような話があったのですが、こういった調査や保護にかかる費用というものが、事業に影響を与えるということはあるのでしょうか。

(猪谷農地整備課長補佐) 埋蔵文化財に関しては調査費がかかりますが、調査費プラスそれにかかる対策費がかかります。遺跡が出るとその上に土を盛って保護して触らないようにするので、土を盛る費用が追加になったということ、また、土を盛ることによってほ場の高さが若干上がってくるので、自然圧パイプラインで考えていたものだと高さが足りなくなります。その高さをカバーするために揚水機場でポンプアップし水を上げる必要が生じたため事業費が若干高くなっています。

(瀧本委員長) はい、ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。今の話に関連しますと、加圧するところはそこのほ場がちょっと上がったところであって、その他は基本的に自然圧でしょうか。

(猪谷農地整備課長補佐) 自然圧の圃場と加圧の揚水機場の両方があります。

(瀧本委員長) 両方あって、大体は自然圧でしょうか。

(猪谷農地整備課長補佐) 範囲は次回説明させていただきます。

(瀧本委員長) 両方の方式があるということですね。

(猪谷農地整備課長補佐) はい。

(瀧本委員長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。お願いします。

(上澤委員) ありがとうございます。質問ではないのですが、ちょっと漢字の間違いを見付けました。3ページ目の「越後連邦」なのですが、「連峰」が、山の峰がちょっと漢字を間違えているみたいです。3ページの「キその他」の「①環境等の調和への配慮」です。

(猪谷農地整備課長補佐) 修正させていただきます。

(瀧本委員長) ありがとうございます。公表されるようになったらなおさらありがたいご指摘ですので、気が付いたことがあったら遠慮なく言っていただければ助かります。ありがとうございます。

◆農業競争力強化農地整備事業「羽茂沖地区」

(猪谷農地整備課長補佐) 資料に基づき概要説明(説明内容は記載省略)。

(瀧本委員長) ただ今のご説明に関しましてご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。よろしいでしょうか。こちらの事業では、まず用水路に関してはパイプライン化をすることでよろしいでしょうか。

(猪谷農地整備課長補佐) はい。

(瀧本委員長) 排水路の方はどのドジョウなどの遡上を考慮して、開水路でしょうか。

(猪谷農地整備課長補佐) 開水路から開水路の改修になります。

(瀧本委員長) 排水路の方は、用水路と排水路を分けて整備しているということですね。

(猪谷農地整備課長補佐) はい。

・令和7年度農業農村整備事業等補助事業の事後評価について

◆水利施設等保全高度化事業「五ヶ江地区」

(桶谷水利整備課長) 資料に基づき概要説明(説明内容は記載省略)。

(瀧本委員長) ただ今のご説明に関しましてご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

(松本委員) ありがとうございます。ただ今の資料の5ページ目、4 事業効果の発現状況(1)事業の目的に関する事項の①でとても大事なことが書いてあるなと思いました。品質の向上の2パラグラフ目において、本事業の実施により、パイプライン化を図った地域はそうでない地域に比べて、冷たい水を安定的に供給できた、そのため、高温障害が和らげられたということが記載してあります。一方で、その次の6ページの5 事業実施による環境の変化(2)自然環境のところ、九頭竜川下流地区全体として、開水路がパイプライン化されたことに伴い、ごみの不法投棄や雑排水の流入が軽減されるなど農業用水水質の保全にも寄与しているという文言があります。もしもパイプライン化されたことに伴って供給される水の温度の安定化が図られたということであれば、水温に関する言及もこの(2)のところでも試してみてもいいのではないかなと思ったのですがいかがでしょうか。

(桶谷水利整備課長) 質問ありがとうございます。今ほど頂いた環境の変化の部分につきましては、内部で検討させていただきたいと思います。品質の向上につきましては、営農的な部分に着目したことで記載させていただいておまして、後段の環境の変化につきましては環境への配慮というものに対して記載させていただきたいというところもございます。後段のところの記載内容につきましては、検討させていただきたいと思います。

(松本委員) はい。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

(瀧本委員長) ありがとうございます。松本委員がおっしゃっていたようにパイプライン化することによって、特に近年やはり夏場の高温障害というのが非常に気になるところでして、地中を通して日に当たらずに水が供給されるという意味で冷却効果があると思います。さらにその分、水を使う水量の節約にもつながってくるかなというところもあるかと思えます。

加えて、自然環境の変化に関しては、パイプライン化されたことで、ごみの不法投棄や雑排水の流入の軽減で水質が保全され、また水温に関しては今後の気象条件とも併せて、モニタリングしながら検討していく必要があるのかなとも思っております。松本委員のおっしゃっていたご意見を踏まえながら今後の検討材料にされてもいいのかなというふうにも思いましたので、よろしく申し上げます。

◆農村地域防災減災事業「郷用水第3地区」

(向川防災課長) 資料に基づき概要説明(説明内容は記載省略)。

質疑なし

以上